



ダイヤモンド Diamond

ダイヤモンドのように、
キラキラと輝くみんなへ願いを込めて



避難訓練 意識アップ



9月4日(金)の昼放課の終わりに大地震を想定した避難訓練の放送が入りました。私は教室に待機していましたが、その場にいる生徒は10人もいないくらいで他の生徒は運動場で遊んでいたり、廊下に行ったりしてバラバラでした。教室では、「シェイクアウト!」のかけ声とともに、机の中に身を潜めました。なかには「机が低くて体が入らない!」と言っている生徒もいましたが、それでも何とか入ることができて、みんなで待機していました。

校舎の外へ避難指示が出てから心配な点がありました。

校舎内では、お おさない は はしらない し しゃべらない も もどらない の頭文字をとって<おはしも>を守れている生徒が多かったです。しかし、校舎の外に出てから建物からいち早く離れる必要があるため、走る指示がありましたが、走っていない生徒が多かったのです。「訓練だから走る必要がない」「走るのがめんどくさい」などの意見がありました。急に来る地震から逃げることができるのか不安が残りました。

1学期のタイムが6分30秒から1分縮めて5分30秒で避難を完了することができました。教頭先生の東日本大震災の釜石の奇跡のお話を聞いて、意識が変わった生徒がふりかえりカードから分かりました。釜石の奇跡を調べてみたところ、群馬大教授(災害社会工学)片田敏孝の指導で津波からの避難訓練を8年間重ねてきた岩手県釜石市の小中学校では、全児童・生徒計約3千人が即座に避難し、生存率99・8%という素晴らしい成果を挙げて「釜石の奇跡」と呼ばれたそうです。これを見習って、避難できるようにしたいですね。

2分前入室 1分前着席

授業の開始2分前、廊下を見ていると多くの生徒がいます。「2分前だよ」と呼びかけると多くの生徒が教室に戻っていきます。呼びかけられているのに、気付かずに他のクラスの前で友だちと喋っていて戻るのが遅い人もいます。夏休み明けだから・・・は理由になりません。限られた授業時間を確保するためにも授業の準備をして、チャイムと同時に号令できるようにしましょう。

